

中國出土資料學會

会員各位

下記の通り、本年度第2回大会を開催いたしますので、ふるってご参加いただきますよう、お願いいたします。

2022年11月1日

中國出土資料學會

会長 下田 誠

---

中國出土資料學會  
2022年度第2回大会

日 時：2022年12月3日（土）

研究報告 13:00～17:00

※ 大会終了後に総会を開催します

**報告Ⅰ 片倉峻平（東京国立博物館・アソシエイトフェロー）**

発表題目：中国出土資料に見える古漢字情報のテキストデータ化－RDF化への検討－

発表概要： 人文学研究ではもはやコンピュータの利用は不可欠なものとなりつつあり、歴史・言語・思想など多方面の分野でテキストデータや画像データを巧みに活用する研究が増加している。中国出土資料に見える古漢字の情報に対しても適切にデジタル化を進めることが出来れば資料を用いた研究の幅が広がることが期待されるが、古漢字情報デジタル化への議論は未だ充分になされていないのが現状である。本発表では出土資料に見える古漢字情報のテキストデータ化について検討を加えるため、いくつかの文献内の解読情報を典拠として発表者が試みに作成してきたExcelファイルのテキストデータベースを紹介し、このデータベースを応用したデジタルアーカイブのデモンストレーションを示す。またテキストデータの記述方法について、ExcelファイルだけでなくRDF（Resource Description Framework）という手法を用いるとどのような整理・表現が可能となるのか考察する。

**報告Ⅱ 平林 美理（早稲田大学文学学術院 助手）**

発表題目：清華簡「鄭武夫人規孺子」と春秋時代の国君夫人の役割の変遷

発表概要： 本報告で扱う清華大学蔵戦国竹簡『鄭武夫人規孺子』は、鄭の武公の死後、武公夫人が子・莊公に対して統治についての訓戒を行うという形式の史料である。本簡の主要登場人物である武公夫人（伝世文献では武姜）について、『左伝』や『史記』などの伝世文献では、莊公とその弟・共叔段を産むが、弟を可愛がって莊公とは対立関係となり、春秋初期の鄭が分裂する要因となった人物として語られる。『鄭武夫人規孺子』はこのような伝世文献にみえる事件に先立つ、武公から莊公への代替わりの際の出来事を記述するが、前述のような母子間の対立関係は窺えず、むしろ母として政治への過剰な口出しを避けようとする言動が見えるなど、伝世文献における武姜とは大きく異なる「子を教導する賢母」として叙述されている。本報告では、『鄭武夫人規孺子』における武姜の国君夫人としての

立ち位置および後継者となる新君・莊公との関係について、同じ清華簡の『繫年』に見える春秋初期の鄭に関する記述なども踏まえつつ伝世文献との異同を整理した上で、伝世文献および出土史料に散見する国君夫人による夫や子への助言・訓戒記事との比較などを通して、本簡における武姜の訓戒内容の成立背景を探り、春秋初期から本簡成立期にかけての公室における国君夫人の役割の変遷についても検討を行う。

### 報告Ⅲ 劉海宇（岩手大學平泉文化研究中心教授） 松村一徳（印章之路研究所所長）

発表題目：和泉市久保惣記念美術館蔵古璽の調査與研究

発表概要：和泉市久保惣記念美術館現蔵古璽印 645 方，包括《平盒考蔵古璽印選》所收録的古璽印 641 方以及未收録の唐宋印 4 方，這些古璽印均為著名篆刻家園田湖城的舊藏。園田湖城（1886-1968）出生於篆刻世家，歷任日展審査員、日本書道聯盟理事、同風印社主宰等職，發行篆刻雜誌《印印》，又曾為藤井有鄰館等美術館整理古璽印藏品。他在古璽印的鑒別和收藏領域成就卓著，與太田夢庵（1881-1967）齊名。他又精通古銅印譜的製作，曾發行自藏古璽印印譜十餘種，製作他人所藏古璽印的印譜十餘種。本發表以久保惣記念美術館所蔵古璽為對象，在科學調查的基礎上，進行系統的整理和研究。發表內容分調查整理篇與研究篇兩部分，整理篇首次公佈這些古璽的印面與印鈕的照片、詳細尺寸與重量，整理印譜《平盒考蔵古璽印選》與美術館藏品編號的異同，研究篇結合近年來戰國文字的最新研究成果對部分古璽文字進行研究和考釋，希冀能對古璽印整理和古文字研究有所裨益。

本大会はハイブリッド型で開催します。対面式会場は早稲田大学文学部（下記参照）、またZoomによるオンライン参加も可能です。

〔対面式会場〕早稲田大学文学部（戸山キャンパス）

報告会場 36-681教室

書店展示・休憩室 36-682教室（※ともに12時開室）

参加希望者は**対面式・オンライン式を問わず**、下記リンクから事前登録をお願いいたします。登録受付期間は**11月25日（金）**までです。

<https://forms.gle/vXHwJY3SqvBgKPMx8>



☆ 参加申込者には、11月29日（火）以降に招待リンクと発表資料閲覧用のパスワードを事務局から送付いたします。なお現地会場にお越しになる方は、事前に発表資料をダウンロードしてご持参ください。会場校の負担を減らすため、会場で資料配付はいたしません。

☆ 参加費無料、非会員の来聴を歓迎します

連絡先（大会委員長）

〒107-0052 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 柿沼 陽平

E-mail: yohey@waseda.jp